おいしさと健康
Glico

CSR Activities

CSR Activities

健やかな笑顔とはずむ声。おいしさにわくわくする気持ち。
そんな毎日が、10年後も、100年後も、
ずっと、ずっと、続くように。
Glicoグループはみんなが笑顔になれる社会を目指して、
活動を続けています。
これはそんなGlicoグループの活動をご紹介するレポートです。
Glicoグループの想いがあなたに届きますように。

Contents

1-2 プロローグ / 編集方針 / 目次
3-4 社長メッセージ
5-6 特集（インタビュー）
7-8 責任ある調達のための取り組み
9-10 安全・安心のための取り組み
11-12 環境を守るための取り組み
13-14 地域コミュニティのための取り組み
15-16 お客様満足のための取り組み
17-18 職場環境・社員のための取り組み
19-20 コンプライアンス・ガバナンス
21-22 会社概要

編集方針
『CSR Activities』は、幅広いステークホルダーの皆さまに、Glicoグループ のCSRの取り組みについて、わかりやすくお伝えすることを目的に発行いたしました。Glicoグループらしい活動を是非ご覧ください。

報告対象組織
江崎グリコ株式会社ならびにGlicoグループ各社

報告対象期間
2019年（2019年4月～2019年12月）
※一部2019年以前の取り組みや2020年1月以降の活動も含んでいます。

発行月 2020年9月
※情報については、発行時点での最新のものを掲載しています。
※記載されている会社名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。

発行
江崎グリコ株式会社 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

お問い合わせ先
グリコお客様センター：☎0120-917-111 ※平日のみ

詳細版（ホームページ）
Glicoグループの CSRの取り組みを、網羅的に報告しています。
www.glico.com/jp/csr/

関連団体への参画

WE SUPPORT

国連グローバル・コンパクトに加盟
2019年より国連グローバル・コンパクトに参加しています。

“事業を通じて社会に貢献する”企業であり続けたい

創業者・江崎利一は、かねて事業を通じて社会に貢献したいと考えていました。そのような中、偶然にも牡蠣に含まれるグリコーゲンに出会い、創意工夫を重ね、人々の栄養状態が不十分であった時代に、栄養菓子グリコを創製しました。

この想いを反映し、創業の精神は、「食品による国民の体位向上」と表現しました。時代とともに、企業理念は「おいしさと健康」へと変わりましたが、その根底を流れる創業者から受け継いできた「食品による国民の体位向上に寄与する」、すなわち「食品事業を通じて社会に貢献する」という精神は、これまでも、そしてこれからも変わることはありません。

この企業理念を実現するためには、変わりゆく時代の要請や期待に応え続けていくことが必要であり、そのための活動がCSRと捉えています。

Glicoグループは、現在、菓子、冷菓、乳製品や加工食品等の領域で事業を展開し、乳幼児の成長、お客様の健康をサポートする商品の拡充や健康機能を持つ食品素材の研究・開発等にも力を入れています。

2019年の活動を振り返りますと、3月には、「アイクレオ赤ちゃんミルク」を発売しました。乳児用液体ミルクという、日本にこれまでなかった分野にチャレンジするのみならず、男性の育児参加に向けた社内外での取り組みや、子育てに関する社会課題解決プロジェクト「Co育てPROJECT」も推進しています。

また、10月には、CSR活動の推進を加速させ、私たちだけでは解決の難しかった社会的課題に挑戦し、貢献できるフィールドをさらに広げるため、国連グローバル・コンパクトに署名しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大といった社会や人々へ大きな影響を与えた状況下においても、これらの活動のみならず、お客様の毎日の生活の中でおいしく、そして健康維持・向上に役立つ日常必需品の提供に取り組んでおります。

私たちは、これからも創業の精神を忘れずに、世界において、さまざまな社会課題に対しての活動を推進し、「食品事業を通じて社会に貢献する」会社であり続けることを目指します。今後ともより一層のご支援をたまわりますよう、お願い申し上げます。

江崎グリコ株式会社　代表取締役社長　**江崎 勝久**

©Mineko Orisaku

特集

授乳までわずか10秒。誰でも簡単に授乳できる液体ミルクできました！

みんなのハッピーな子育てを応援する、日本初の乳児用液体ミルク「アイクレオ赤ちゃんミルク」。その開発にかけた想いを、二人のキーパーソンに聞きました。

※母乳は赤ちゃんにとって最良の栄養です。

アイクレオ赤ちゃんミルクの3つの特徴

1 保存料不使用&常温保存可能

保存料不使用なので、安心して赤ちゃんに授乳できます。
さらに、長期保存が可能なので、外出時やいざという時にも。

2 衛生的に移し替えできる専用ストロー付き

衛生的な専用ストロー付きなので、夏場の衛生面などが気になる時でも安心して授乳できます。

3 低月齢にピッタリ125ml

授乳が一番大変な低月齢の赤ちゃんに合わせた小容量タイプです。

Glicoグループは子育てを応援しています！

Glicoの子育てアプリ「こぺ」

妊娠期からのCo育てノウハウ満載！

iOS版　Android版

マーケティング担当
水越 由利子

パパの育児参画促進によって、日本の子育ての幸福度向上を目指す

調乳が不要な「液体ミルク」は、衛生的かつ簡単・便利で誰でも授乳できるというメリットがあります。北欧諸国は国民の幸福度が高いことで知られていますが、幸福度の高さはパパが育児にしっかり参加しているからだともいわれています。北欧諸国では日常的に液体ミルクが活用されており、例えばフィンランドでは92%と高い普及率を誇っています。一方、日本の液体ミルクの市場シェアはわずか約2.5%でしかありません。育児課題解決には、子育ての多様性を拡大することが重要です。ママたちが一人で抱えがちな“授乳”をシェアし、いろんな人が授乳するようになれば、ママの負担が減るだけでなく、赤ちゃんもいろんな人から愛情を受け取り、ママにとっても、赤ちゃんにとっても良い環境になります。育児の“大変さ”だけでなく、“楽しさ”もみんなでシェアすることで、日本の子育ての幸福度を上げたい。そんな想いから、私たちは日本初となる液体ミルク「アイクレオ赤ちゃんミルク」を開発しました。
実際、「アイクレオ赤ちゃんミルク」をご利用になったパパたちから、「これだったら自分でも授乳できます！」と喜びの声が届いています。赤ちゃんとの触れ合いによって得られる幸福感が、父親としての自覚形成にもつながるようです。
私たちが今できることのすべてを投入した「アイクレオ赤ちゃんミルク」は、Glicoグループの企業理念である「おいしさと健康」を体現した製品だと自負しています。今後も、液体ミルクが日本の子育ての幸福度を上げる一助になればと願っています。

研究開発担当
永富 宏

育児を頑張るママ・パパの負担を減らし、赤ちゃんと過ごす時間を笑顔でいっぱいに

「アイクレオ赤ちゃんミルク」の開発では、長期保存による安全性と赤ちゃんに必要な栄養素を満たすことを大前提に、ママが安心して赤ちゃんにあげたくなる「品質」を目指しました。
その中でも、「ミルク本来の白さ」「おいしさ」にこだわり、何度もチャレンジを重ね、原料や製法をひとつひとつ見直し、極力加熱の少ない「無菌パック製法」を採用することで、現在の「アイクレオ赤ちゃんミルク」を実現しました。
「アイクレオ赤ちゃんミルク」によって、ママだけでなくパパや知人などいろいろな方々が育児に参加しやすくなり、日本にいる皆さまの子育てがよりハッピーになるように、さらなる改良と開発に励んでいきます。

開発にかけたGlicoグループの想い。詳しくはこちら。

責任ある調達のための取り組み

豊かな自然環境を守り、そこに暮らし、働く人々の人権を守るため。
Glicoグループは、環境や人権に配慮した原材料の調達に取り組んでいます。

森を守り、生産者を守る調達を進めています

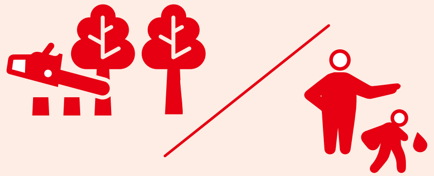
Glicoグループの製品には、さまざまな原材料が使われています。その原材料が育つ豊かな自然環境の保護と生産者の人々への支援。それが「おいしさと健康」に取り組むGlicoグループの責任であると考えています。

環境にも人にもやさしい原材料に切り替えています

管理・製造・流通において環境や生産者の人権に配慮されていると証明された「RSPO認証パーム油」や、「サステナブルカカオ豆」（農家への支援が行われている地域で生産されたカカオ豆）の調達を進めています。

パーム油を取り巻く問題

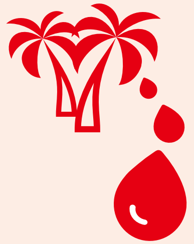
加工食品に広く使われているパーム油。パーム油の原料であるアブラヤシの生産地域では、農園開発による熱帯林破壊や、劣悪な労働環境など、さまざまな問題が指摘されています。



そこで…

「RSPO認証パーム油」を使用予定

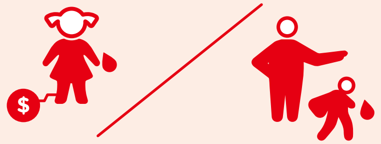
2019年10月にRSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）に加盟しています。RSPO認証パーム油を、基幹商品より導入していく予定です。



※RSPO：持続可能なパーム油のための円卓会議。さまざまな業種で構成された非営利団体で、パーム油の国際認証制度を運営しています。

カカオ農家を取り巻く問題

カカオ豆は木1本当たりの収穫率が低い上に小規模農園が主流です。また取引単価も低いため、貧困に苦しむカカオ農家が多く、児童労働や人身売買も起きています。



そこで…

サステナブルカカオ豆を使用

2022年までに、Glicoグループが調達するガーナ産カカオ豆のすべてを、サステナブルカカオ豆に切り替える予定です。

環境や社会に配慮した調達に関する取り組みは他にも。詳しくはこちら。

安全・安心のための取り組み

世界のお客様の信頼に応え、安全・安心でより良い商品・サービスを提供するために。
Glicoグループは、お客様の安全・安心と品質を最優先に活動しています。

バリューチェーン全体で安全・安心な品質を約束しています

商品の設計から原材料の調達、そしてお客様に商品・サービスを提供するまでのすべてのステージにおいて、安全で確かな品質の商品をお届けするための体制を整えています。

Glicoグループ　品質方針

Glicoグループでは、世界中のお客様により安全で安心できる商品・サービスをお届けするうえで、グループの姿勢を明確にし、活動の指針とするため品質方針を定めています。全社員のみならず、お客様や取引先をはじめとする全てのステークホルダーのご理解とご協力をいただきながら、活動を推進しています。

私たちは、企業理念「おいしさと健康」に基づき、より安全で安心いただける商品・サービスを、世界中のお客様にお届けすることをお約束します。

1. お客様満足の向上
お客様の声に真摯に耳を傾け、誠実に対応し、品質とお客様満足の向上を継続的に推進します。

2. 安全・安心
原材料の調達から販売までの全ての活動において、品質最優先で取り組み、安全でお客様に安心いただける商品・サービスを提供します。

3. 法令遵守
商品・サービスに関連する全ての法令を遵守します。

4. 情報開示
お客様の立場に立って、正確な情報を誠実に分かりやすくお届けし、信頼いただけるよう努めます。

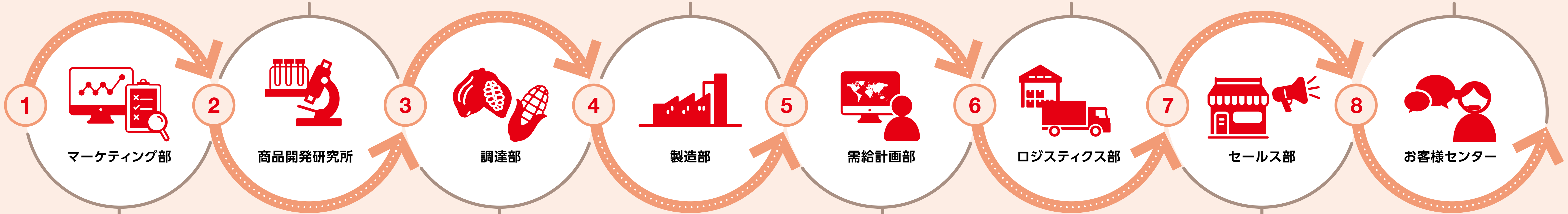
5. 継続的な改善
グローバルな品質・食品安全マネジメントシステムの考え方に基づき商品の安全を確保し、より良い品質を追求し続けます。

以上の項目をGlicoグループの全従業員が理解し、実行します。
2020年9月　江崎グリコ株式会社　代表取締役社長

1. 品質管理方針に基づいた製品づくり
2. すべての商品に「おいしさ×健康」の要素を搭載
3. 若手所員の育成

1. 品質保証重要プロセスの高度化
2. 科学的手法を活用したおいしさ品質・健康品質の向上
3. お客様への情報提供力の強化

1. 温度管理の徹底、保管品質と配送品質の向上
2. トレーサビリティの向上
3. おいしさ品質や鮮度向上のため工場直送を推進



1. 徹底した消費者理解に基づく価値創造
2. 商品開発から発売に至るまで品質保証ルールを遵守

1. 調達方針体系の整理
2. 原材料（環境負荷の少ない包材等）の提案
3. 原料管理と機能開発による製品の鮮度向上

1. 工場の品質管理における重要プロセスの強化と消費者視点の改善
2. 工場の潜在的な品質リスクの抽出・分析（PRA）
3. 品質管理力向上、品質教育、監査レベルの向上

1. 店頭での鮮度チェック
2. 卸店に対する物流品質（在庫・保管・配送）のチェック
3. 流通クレーム改善

お客様に安全・安心な製品・サービスを提供する取り組みは他にも。詳しくはこちら。

環境を守るための取り組み

Glicoグループの事業は、自然の恵みがあってはじめて成り立つもの。この大切な地球環境を未来へ引き継げるよう、事業を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。

規格外品を販売し、食品ロスを減らしています

食品ロス※は、食料の生産やごみ処理の過程で温室効果ガスを排出させてしまうだけでなく、資源の廃棄にもつながります。Glicoグループは、食品ロスの削減に取り組み、環境への負荷を減らしています。

※食品ロス：まだ食べられる食品が捨てられること。

製造工程で、ちょっと欠けたり折れたり、見た目の基準をクリアできず規格外となる商品が発生（ロス）。

そこで…

おいしさはそのままに、アウトレット商品として販売

「冬のくちどけポッキー<ふぞろい品>」
※販売場所・時期：不定

お客様の声

折れていたり逆さに入っていたりしますが、全然気になりません！ また販売されたら絶対買います！

不揃いでも十分おいしいです。何も変わりません。また見つけたら必ず購入します。

環境にやさしい素材「バイオマスプラスチック」を導入しています

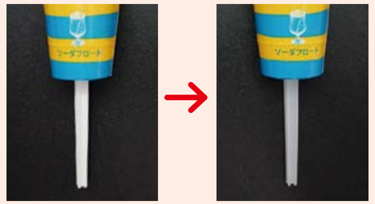
ストローやアイスのスティックに、植物由来の原料を使った「バイオマスプラスチック」を使用しています。
バイオマスプラスチックは、石油の使用量や製造過程で必要となるエネルギーが少なく、CO_2削減にもつながると期待されています。

自動販売機のステッカーが目印！

飲料製品のストローに

サトウキビから作ったバイオマスプラスチックを、ストローの組成の5％に使用

「セブンティーンアイス」のスティックに



サトウキビから作ったバイオマスプラスチックを、スティックの組成の10％に使用

石油使用量の削減 → CO_2の削減

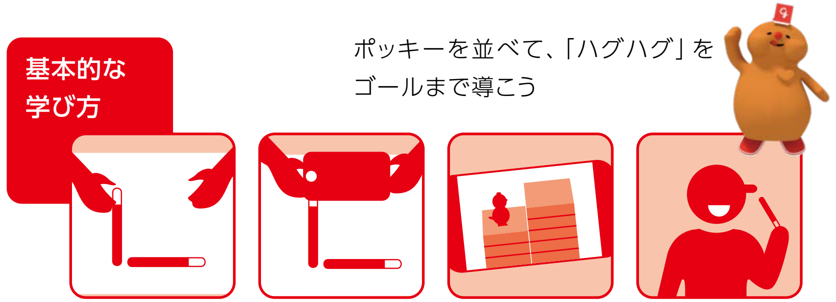
環境に配慮した取り組みがまだまだたくさん。詳しくはこちら。

地域コミュニティのための取り組み

子どもたちの健やかな成長と笑顔のために。そして地域の人々の心豊かな暮らしのために。Glicoグループは次世代を担う子どもたちの成長を支援する活動を行っています。

楽しく遊び、学ぶことができる「GLICODE® (グリコード)」を開発しました

ポッキーを使って、楽しみながらプログラミングを学習できる無料アプリ「GLICODE® (グリコード)」。260校を超える小学校の授業でも採用され、子どもたちの考える力の育成を支援しています。



GLICODE®を授業でも

プログラミング教育に詳しい有識者や学校の先生方にご協力いただき、授業でご使用いただける「じゅぎょう用コース」と、指導案を作成しました。

授業で使える映像コンテンツの例

プログラミング授業の参考映像

※掲載元：日本教育新聞

楽しむ！学ぶ！ Glicoの教育キットが他にも。詳しくはこちら。

子どもたちの健やかな成長と笑顔のために

「日本中においしさと健康そしてワクワクする笑顔をお届けしたい」。そんな想いから2010年に誕生したグリコワゴンは、Glicoグループの商品をたくさん積み込んで、子どもたちの健やかな成長に寄り添い、皆さんに笑顔を届けられるよう、活動しています。

グリコワゴンで被災地を訪問

被災地の皆さんを元気づけたい。東日本大震災以降、日本各地で発生した自然災害の被災地に何度も駆けつけています。

【2019年の訪問地】
広島県立総合技術高等学校（広島県）
三原市本郷幼稚園・本郷保育所（広島県）
厚真町立厚真中央小学校（北海道）
厚真町立厚真中学校（北海道）
白河市しらさかの森スポーツ公園（福島県）
千葉市立稲浜小学校（千葉県）

到着したグリコワゴンに大盛り上がり!

※写真は2019年に台風の被害にあった千葉市立稲浜小学校に訪問した際の様子です。

GLICODE®に挑戦!

最後は笑顔でハイタッチ

全国を巡るグリコワゴンの詳しい情報はこちら。

食文化を「見る・楽しむ・学ぶ」グリコピア

ポッキーやパピコなどの製造工程を見学したり、デジタル空間でお菓子づくりに挑戦したり。グリコピアは、Glicoグループの商品や食文化について楽しく学べる工場見学施設です。

グリコピアは千葉、埼玉、兵庫の3カ所。詳しくはこちら。

お客様満足のための取り組み

お客様に安全・安心で、ご満足いただける製品とサービスを提供するために。
Glicoグループは、お客様との双方向コミュニケーションを大切にしています。

お客様の声を商品・サービスに活かすための体制をつくりました

お客様からいただいたご意見をすぐさま社内で共有し、より良い商品やサービスの開発・改善につなげる体制を整えています。

お客様にご満足いただくための取り組みが他にも。詳しくはこちら。

お客様の声にお応えする商品をつくりました!

お客様からいただいたご意見・ご要望に真摯に耳を傾け、その声にお応えする商品をつくりました。

CASE 1

乳アレルギーの子どもが、**外出先でもお友達と一緒に食べられる**アイスをつくってください

そこで…

セブンティーン アイス

乳成分を含まないアイスの販売を自販機で始めました。

CASE 2

ベジタリアンでもおいしく食べられるプリンがあればいいのに…

そこで…

植物原料でつくったプッチンプリン

卵・乳などの動物原料を使用せず、植物原料だけでプリンをつくりました。

他にもお客様からのご意見を参考にした取り組みがたくさん。詳しくはこちら。

知る、楽しむ、仲間とつながる「with Glico」

「with Glico」は、ココロとカラダに元気を届けるGlicoの会員コミュニティサイトです。ゲームで遊んだり、仲間とゆっくり語りあったり、健康や食について学んだり、ポイントを集めたり、毎日をワクワクさせてくれるコンテンツを多数ご提供しています。

with Glico
みんなとつながる ファンのまち

職場環境・社員のための取り組み

みんなが笑顔で活躍できる社会をつくりたい。Glicoグループは、多様な人財が適材適所で活躍できるよう、さまざまな取り組みを進めています。

働くパパ・ママの「Co育て」を応援します

Co育て PROJECT

Glicoグループでは、子育てはもちろん、不妊治療や妊活、育児、子・孫の看護や検診、学校行事へ参加するための有給休暇制度を設けています。

全社員が取得必須！「Co育て休暇」の仕組み

妊娠前	妊娠期	出生〜6か月	6か月〜2歳	2歳以降〜
Co育て休暇（プレ）（1回／年）5日有給		必須 Co育て休暇（Co育てMonth）1か月有給		Co育て休暇（子・孫）（勤続中1回）5日有給
	Co育て休暇（育児）（妊娠〜2歳）5日有給			

Co育てMonth取得者の声

「Co育てMonth」の取得を通じて、子育ての楽しさ・辛さ、家族との時間の大切さ、そして感謝を感じることができました。取得後は、早く帰って家族との時間を大事にしたいという意識がより強くなりました。この経験を業務に生かすとともに、「Co育てMonth」を取得した経験者として、今後より良いCo育ての在り方に積極的に協力していきたいと思います。

江崎グリコ株式会社　マーケティング企画室　宮坂 賢

\ 家族と過ごすかけがえのない時間 /

まだまだたくさんの「Co育て」情報があります。詳しくはこちら。

“障がい者の成長”が“企業の成長”につながる仕組みをつくりました

障がいのある方が、その障がいの種類にかかわらず活躍できる職場づくりを目指して、Glicoが開設した新たな職場、それが「スマイルファクトリー」です。障がい者14名と管理者5名で日々業務に励んでいます。

スマイルファクトリー業務体験レポート

ラベル貼りなどの業務を社員が体験！
スマイルファクトリーメンバーの丁寧な仕事ぶりに社員が感動する場面も。

\ まずは自己紹介 /

\ ラベル貼りの業務を体験 /

\ 最後は意見交換！ /

VOICE

スマイルファクトリーは、障がいのある方がいきいきと働ける職場として、2018年10月にスタートしました。
本社敷地内に拠点を置くことで、Glicoグループ従業員との共生を図り、ノーマライゼーション※の実現を目指しています。

※ノーマライゼーション：障がい者と健常者が均等に当たり前に働ける環境。

スマイルファクトリー　管理責任者　今川 寛美

\ 安全面等に配慮した設備 /

他にも多様な人財が適材適所で活躍できるための取り組みがたくさん。詳しくはこちら。

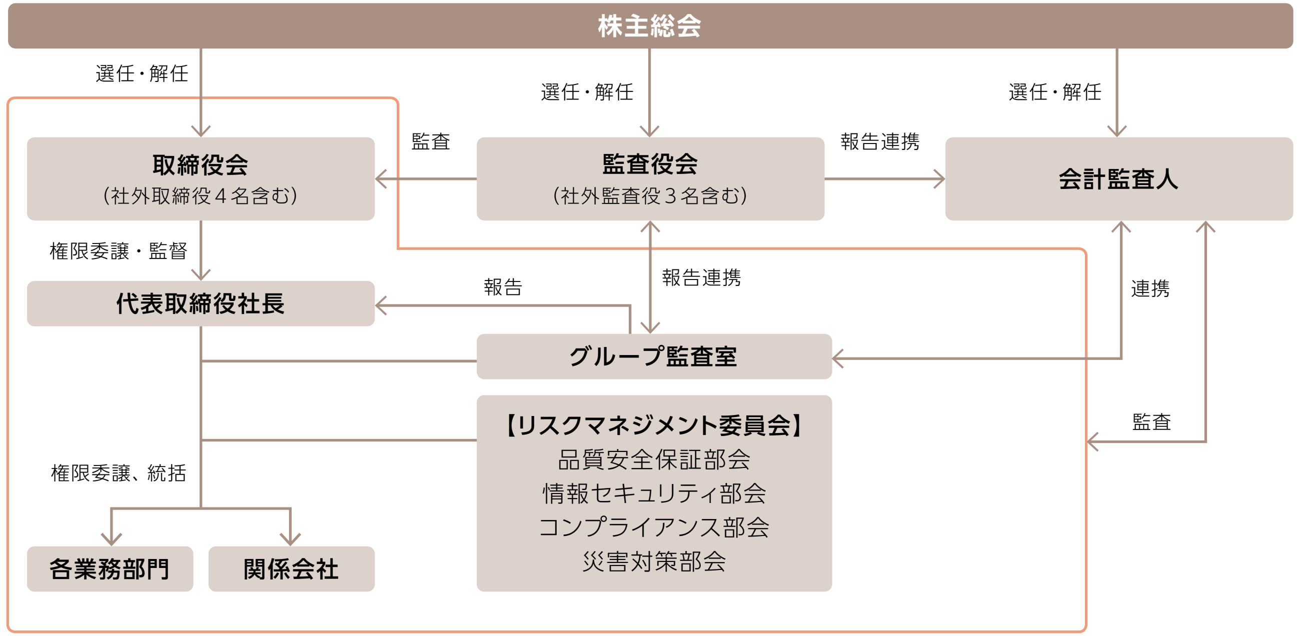
コンプライアンス・ガバナンス

社会から信頼され必要とされる企業グループを目指して、コーポレート・ガバナンスの強化・充実とコンプライアンスの徹底に努めています。

コーポレート・ガバナンス体制

最高意思決定機関である株主総会の下、重要な業務執行に関する意思決定および各部門（関係会社を含む）による業務執行の監督を行う取締役会、ならびに取締役会の職務執行を監視・監督する監査役会を中心としたコーポレート・ガバナンス体制を構築しています。

〈コーポレート・ガバナンス体制図〉



リスクマネジメント

Glicoグループを取り巻くリスクに迅速かつ的確に対処するため、社長直轄の組織として「リスクマネジメント委員会」を設置しています。
グループにおけるリスクを把握するとともに、法令および各種ルール等の遵守についてグループ内において周知徹底する等によりリスクの顕在化によるクライシスの発生を未然に防止することに努めるとともに、万が一発生した場合に生じる負の影響を最小限に抑えるための策を講じ、再発の防止に努めています。

Glicoコンプライアンスホットライン

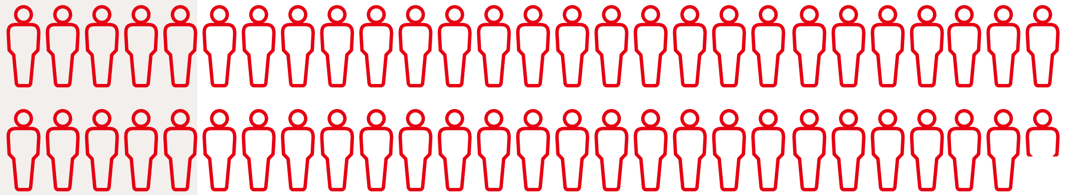
Glicoグループの全役員・従業員一人ひとりによる法令違反や社内規程への違反行為の未然防止と早期発見を目的として、「Glicoコンプライアンスホットライン」を設けています。
違反またはその疑いを発見した者は、自身が不利益を被る危険を懸念することなく会社に通報することができます。通報に対しては、経営陣から独立した調査機関が調査・対応します。実名通報、匿名通報、半匿名通報の３つのパターンがあり、Glicoグループにおけるパート・アルバイト等を含む全役員・従業員が利用可能です。

ホットラインポスター

会社概要

従業員数（連結）

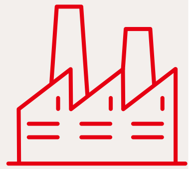
5,364人（2019年12月末現在）



事業所数（国内）

本社・オフィス・統括支店

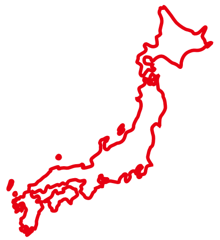
10拠点（2020年7月現在）



工場

17工場（2020年7月現在）

関係会社



国内

7社（2020年7月現在）

海外

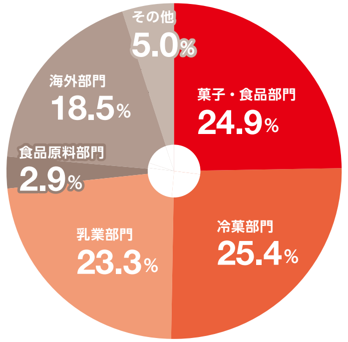
16社（2020年7月現在）

売上高（連結）

288,187百万円

江崎グリコ単体 205,383百万円（2019年12月末現在）

セグメント別売上高割合（2019年度）



事業紹介

Glicoグループの事業について、詳しくはこちら。

江崎グリコ株式会社

www.glico.com/jp